

(様式1)



平成 30 年 2 月 19 日

つくば市記者会 御中

つくば市政策イノベーション部企画経営課

「持続可能都市ヴィジョン」を発表します。

<項目> (あてはまるものすべてにチェック)

イベント・会議等の事前周知依頼

イベント・会議等の取材依頼

イベント会議以外の事業の周知依頼

参加者募集の告知依頼

その他 (

) 全 2 枚 (本紙含む)

<概要>

つくば市では、持続可能な都市の実現を図るため、高齢者や子どもたちをはじめとして、あらゆる層の人々が持続的に満ち足りた生活を営むことができるまちづくりを推進し、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられた 17 の SDG s のゴールを活用して、持続可能なまちづくりの取組を発展させたいと考えています。

こうした取組を始めるに当たり、市民参画が図られた施策推進を目指すため、市民の皆様と SDG s について考える機会として SDG s フォーラムを開催します。このフォーラムの中で、市として SDG s の枠組みを活用し、持続可能な都市の実現を目指すための取り組みを進めていくことを内外に示すため、持続可能都市ヴィジョンを発表します。

つくば SDG s フォーラム

○ 日時：平成 30 年 2 月 19 日 (月) 18 : 00 ~ 20 : 30

○ 場所：つくばカピオホール

○ プログラム

・開会

・有識者講演

・パネルディスカッション

・持続可能都市ヴィジョン

・閉会

平成 30 年 2 月 15 日

持続可能都市ヴィジョン（案）

名峰筑波山をはじめとする恵み豊かな自然、最先端の科学技術、世界に開かれた多様性などのつくばの資産は、過去からの先人たちの努力により守られ、創られてきました。現在を生きる我々は、敬意と感謝をもって、この資産を未来の世代に継承し発展させていくことが求められます。そして我々は、地域や地球社会が直面する少子高齢化、貧困と格差、気候変動などの課題も克服していく必要があります。

これらは、我々と未来の世代そして世界に共通する使命であり、この使命を果たすために、以下の通り「持続可能都市」を目指していきます。

- 「誰一人取り残さない」包摂の精神のもと、年齢、性別、地域、国籍などによらず、人間一人ひとりの安全が守られ、地域の隅々まで福祉がいきわたり、つくばに集うすべての人が自分らしく生き、幸せが溢れるまち。
- 公正・公平、人権、平和などの普遍的な価値を尊重し、他者、社会、自然環境との関係性を認識し、持続可能な地域と世界を構築するために自ら働きかけ変革を起こす人材が育つまち。
- 科学技術の進歩が市民の日々の生活に恩恵を与えるよう、その限界を認識しながらも可能性を追求する対話を通して先駆的に活かし、人類共通の課題の解決に貢献するまち。
- 市政の透明性と説明責任を重視し、市民、行政、議会、地域団体、大学・研究機関、企業などが一体となって持続可能な取り組みを進め、世界に新たな未来像を提示するまち。

平成 30 年 2 月 19 日

つくば市